

目 次

提言要旨	2
はじめに	3
I 現状と問題点	3
1 三位一体の改革による影響	
2 市町村の税収	
3 軽自動車の保有状況	
4 納付書の煩雑化と複数発布	
5 組織のスリム化による職員数の削減	
II 研究課題	9
1 滞納者の未然防止	
2 事務の簡素化	
3 安定した財源確保	
III 政策提言	10
1 特別徴収制度を活用した納期の拡大と納付額の平準化	
2 一元化による事務効率化	
3 特別徴収義務者（事業所）の拡大	
おわりに	15

提 言 要 旨

地方税の収納率向上に向けた制度設計

“滞納者をいかに増やさないか”

現 状

- 地方税滞納額の増加
- 納入通知書の煩雑化
- 地方交付税の減少
- 自治体職員の削減

課 題

- 滞納額の未然防止
- 事務の簡素化
- 安定した財源の確保

提言 1

特別徴収制度を活用した納期の拡大と納付額の平準化

住民よし！

提言 2

納付事務一元化による事務効率化

行政よし！

提言 3

特別徴収義務者（事業所）の拡大

会社よし！